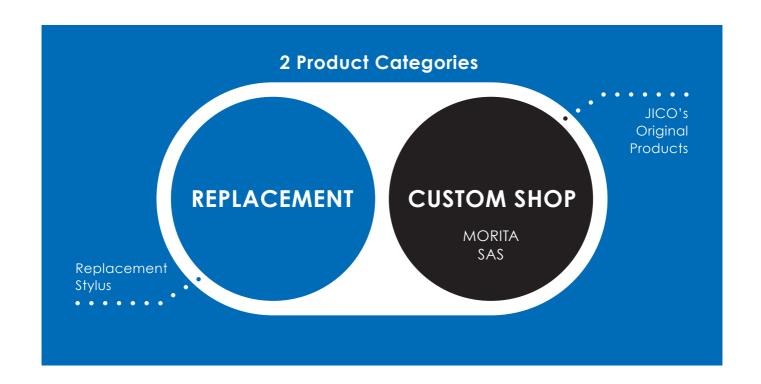


IT'S TIME TO ADVANCE

2021: New Products

新製品のご紹介 日本精機宝石工業株式会社 November 10, 2020





JICOは進化します。

私たちは営々と "Replacement Stylus" メーカーとして存在し続けて参りました。 近年、私たちは果たして「JICOの音」ってあるの? あるとするならば、それは「どんな音」なのか?を 探求するようになりました。私たちなら、こんな音を聴いてみたい!! 私たちなら、こう創り出す!! そして私たちなら、こうしてお届けする!! その探究心こそが"進化"だと思います。

今後さらに飽く事なく「JICOの音」を追求してまいります。そしてブランドを整備し、皆様に分かりやすい JICOにしていきます。少しでも、私たちに共感していただき、これからのJICOに期待してください。

カスタムショップとは?



High-End Models

2021年に、JICO独自のブランド 「カスタムショッププロダクツ」を立ち上げ、 高品質で洗練された製品をお届けする運びとなりました。

この新たなプロダクツを、皆さまにしつかりと認識して頂くための視覚的要素 としてカスタムショップロゴを開発しました。

To be released: J44D/J44A 7 **SETO-HORI** Remodel **ACCORION**



リスペクトを込めて。

突然のNEWSに世界中のファンが悲しみに 包まれた2018年。

それから約2年半の時を経て「現存するSHURE社 44モデルの純正交換針と弊社の交換針をそのまま 使えるカートリッジ」を2021年春に発売予定で ございます。

SHURE社をリスペクトし44モデルを愛好されてい る方々に向けて、これからもJICOが存在する限り、 44モデルカートリッジ及び交換針を作り続けます。 外観だけを似せた安直なモノづくりは決してせず SHURE社の "モノづくり" をリスペクトし古き佳き "過去"を研究・開発し続けます。

J44D

定位感がしつかりした サウンド。

スムーズな広がり感のある、 立体的なサウンドを 奏でます。 M44G同等の仕様に なっています。



J44A 7

音楽性が豊かで 躍動感のあるサウンド。

44Dにはない迫力ある 低音は芯のしつかりした サウンドを奏でます。 M44-7同等の仕様に なっています。



※画像は開発中のものです。実際の商品とはデザイン・名称が一部異なる場合がございます。



オリジナルに近づける努力。

44モデル開発インタビュー 取締役社長 仲川 幸宏

今回開発しようとなった経緯は?

仲川:元々は、2018年SHURE社がフォノカートリッジ生産終了のアナウンスが突然飛び込んできたところ からスタートしました。その後、日が経つにつれ周りの方々から「44のカートリッジ作ってよ」「44のカート リッジ作るんでしょ」「44の交換針を作っているんだから」などなど、なぜかSHURE社撤退後の穴はJICO が埋めるだろうという風潮というか、声が多くなったことで開発に踏み切りました。

どこにこだわりを持ちましたか?

仲川:まずは、フォルムを同じにすること。次にスペックを同じにすること。そして何より "遜色の無い音" に するところです。多くの純正カートリッジをかき集め、ヨークやコイル、ポールピースなどの部品を徹底的 に分解、分析、データ取りなど考えられることは全てしました。44独特の"音質"に関しては、相当こだわり ました。

今後の展開については?

仲川: JICOの音の探求をします。基本的には、その探求に必要な製品を開発していきます。また、それと並行 して "アナログレコードを楽しむ空間" をプロデュースする製品、例えば 「あれば嬉しい製品 | 「あれば愉しい 製品 | 「ありそうで無かった製品 | などを研究・開発し製造していきます。



JICOのハイエンド。[Part 1]

「JICOの音」を探求する意図で、ボディにかつて無い素材を採用したMCカートリッジです。 カンチレバー素材をボロンとジルコニアでセットアップしました。 上質で個性豊かな"今までに聴いた事が無い"サウンド = JICOのHigh-End。 タブーへの挑戦こそが、我々の"至上命題"なのです。



SETO-HORI Remodel (仮)

織部焼の非磁性体の瀬戸物ボディに、MCカートリッジとマイクロリッジチップ+ ボロンカンチレバーを組み合わせた "SETO-HORI" は、海外で高い評価を得ること が出来ました。しかしながら、独特の振動特性や防磁特性により、ヘッドシェルへの セットアップ等によるバラツキがありました。そこで、ヘッドシェルと一体型にする ことで、より精緻な音をめざしたSETO-HORI Remodel(仮)をリリースします。

アルミと銅の合金のインゴットから5軸マシニングセンタで削り出されたヘッドシェル とSETO-HOIRIカートリッジの重心点は、トーンアームの中心線上に配置されるよう にデザインされており、トーンアームの持つ最適な感度でレコードをトレースします。 また、ネジなどを介さず一体化されたボディは粗雑な共振を低減させます。 日本の伝統技術と先端加工技術の融合したSETO-HORI Remodel (仮) を是非 お試し下さい。

※画像は開発中のものです。実際の商品とはデザイン・名称が一部異なる場合がございます。



JICOのハイエンド。[Part 2]



ACCORION

因州和紙に藍染をひとつひとつ施した和紙ボディカートリッジ。 SETO-HOIRI Remodel (仮) と同様にアルミと銅の合金のインゴットから 削り出された汎用オリジナル籠形ヘッドシェルと組み合わせることにより、 SETO-HOIRI Remodel(仮)とは、対極の振動特性を持ち、太めでパワフルな サウンドを目指します。

※画像は開発中のものです。実際の商品とはデザイン・名称が一部異なる場合がございます。



お問い合わせ

日本精機宝石工業 (JICO)

JICO (ジコー) という呼び名の出発点である レコード針は現在でもおよそ2.000種類、約30の メーカーに対応するモデルを製造しております。 1本でもご注文がある限り、わたしたちはレコード 針をつくり続けてまいります。

東京オフィス

〒103-0024

東京都中央区日本橋小舟町 8-6 505号室

本社/工場

〒669-6701

兵庫県美方郡新温泉町芦屋100番地

■国内での販売について

0120-579-010 Tel:

受付時間 平日 10:00~12:00, 13:00~17:00

03-5962-3809 Fax: E-mail: inquiry@jico.co.jp Web: https://jico.online/

●海外での販売について

E-mail: press@jico.co.jp

Web: https://www.jico-stylus.com/